コーセー　消費者志向経営優良事例表彰で長官表彰を受賞

コーセーは、消費者庁が主催する「令和6年度 消費者志向経営優良事例表彰」にて、2年連続2回目となる消費者庁長官表彰を受賞した。

「消費者志向経営優良事例表彰」は、消費者庁の主催で、消費者志向経営に関する優れた取り組みを行う事業者を表彰するもの。2018年から実施しており、各事業者の取り組みを広く周知啓発し、消費者志向経営の推進を図ることを目的としている。

今回同社は、NPO法人と協働した障がいのある人を対象としたセミナーの開催や、地域と連携した次世代に向けた紫外線対策の啓発活動など、多様な消費者に向けた取り組みが評価された。また、1シーズンで販売しきれなかった商品を求めやすい価格で販売することと環境に関する啓発活動を組み合わせた持続可能な生産消費形態を目指す取り組みも評価された。

同社では、「一人ひとりの美しさに寄り添うアダプタビリティ」の考えのもと、社会貢献活動の一環として、脳卒中による障がいのある人へ向けたメークセミナーを開催し、手が不自由な場合にも簡単に仕上がるメークの提案など、自社の強みを活かして消費者のウェルビーイング向上に寄与している。また、スポーツ時の紫外線対策の啓発として、消費者の参加を促すメンバー募集型プロジェクトや地域と連携した紫外線対策講座など、健やかな肌づくりから子どもたちを支援する取り組みを行っている。

フマキラー　第16回化学遺産に認定　世界初の液体殺虫剤や電気式蚊取りに高評価

フマキラーはこのほど、公益社団法人日本化学会が実施する第16回化学遺産認定事業にて、世界初の液体殺虫剤「フマキラー殺虫液」と世界初の電気式蚊取り「ベープ」が、現在の家庭用殺虫剤の先陣を切り、世界に先駆けた画期的製品であることが認められ、「世界に先駆けた家庭用殺虫剤の展開」として化学遺産（認定化学遺産　第071号）に認定された。第16回は同社を含め5件が選ばれた。

世界初の液体殺虫剤「フマキラー殺虫液」は、創業者・大下大蔵（おおしも　だいぞう）氏が1914年に除虫菊の研究に着手し、世界に先駆けて除虫菊を主成分とする殺虫液を開発し、1920年頃までに製造販売を開始した。霧吹き器を付けて息を吹き込むと殺虫液が霧状に散布される仕組みの家庭用殺虫剤製品として売り出したところ、国内、海外に取引を拡大して大きな成功を収めた。現在、殺虫剤製品の主流となっているエアゾールスプレー式につながっている。

世界初の電気式蚊取り「ベープ」は、戦後開発が進んだ合成ピレスロイドを使用して1963年に開発されたもので、蚊取りの歴史を変える爆発的なヒットとなり、現在のコンセントなしで場所を選ばず使える電池式蚊取り「どこでもベープ」（2000年発売）、火も電気も電池も使わないワンプッシュ式蚊取り「おすだけベープ」（2008年発売）につながっている。

◆ライオン、代表取締役・取締役会議長の異動

（3月28日付）

代表取締役／退任（代表取締役会長）掬川正純▽代表取締役兼副社長執行役員（取締役兼上席執行役員）福田健吾▽代表取締役兼副社長執行役員（取締役兼副社長執行役員）鈴木均

取締役会議長／退任（取締役会議長）掬川正純▽社外取締役兼取締役会議長（社外監査役）松﨑正年

株式会社宮本
代表取締役
宮本 浩樹 氏

The Voice

三方良しの精神のもと「やさしい容器」の提供に注力

容器商社として安定した成長を続けている宮本は、2001年に宮本浩樹氏が入社した当時、業績は現在の10分の1、社員数も5分の1ほどだった。当時はまだ一般型容器の取り扱いがなく、顧客からの要望を受けて金型を作り、提供する流れが主流だったこともあり、商品数もそこまで多くなかったという。

入社後は、自社オリジナル容器として、さまざまな顧客が小ロットから使用できる一般型の制作に取り組んだ。容器製造に使用するポンプも、1度に数十万本発注し、小分けで顧客に販売するシステムに変更した。

さらに、品質検査レベルが現在ほど厳格ではなかった2004年にクリーンルーム検査ラインを新設するとともに、現在は一般的になったショールーム体制づくりにも早くから着手し、2006年にショールームを新設するなど、時代に先駆けた取り組みも推進した。

これらの改革について、当時は仕入れ先の工場などから批判的な声も寄せられたという。

「工場にとっても技術の研鑽は必要不可欠であるため、『工場の皆様も、当社とともにぜひステップアップしていただきたい』と丁寧に説いて回っていた」（宮本社長）

その後、宮本氏は2013年に代表取締役社長に就任。三方良しの精神のもと、「やさしい容器」の提案に取り組んでいる。

『やさしい容器』には、地球環境へのやさしさだけでなく、お客様に喜んで使っていただくことができたり、充填工場さんにとって充填しやすかったりと、いろいろな方に喜んでいただける、やさしい笑顔が溢れる容器という意味が含まれている。容器というビジネスを通じて皆様に広くご使用いただき、喜んでいただけることが、当社にとっての一番の喜びにつながる。今後も容器のトータルコーディネーターとしてできることの全てに取り組み、やさしい容器を通じて、一緒に仕事をしていただける皆様と笑顔で仕事ができる『笑売』につなげていく」（宮本社長）（上）

（禁無断転載）©Ⓡ
本紙の全部または一部を無断で複写複製（コピー）することは、堅く禁じられております。
本紙からの複写を希望される場合は、出版者著作権管理機構（JCOPY）（03-3513-6969）まで必ずご連絡下さい。